

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業名	地域高規格道路 <small>ほうじょうゆばら</small> 北条湯原道路 一般国道313号 <small>くらよしせきがね</small> 倉吉関金道路	事業区分	一般国道	事業主体	鳥取県
起終点	自：鳥取県倉吉市関金町関金宿 <small>くらよしせきがねちゆうせきがねしゆく</small> 至：鳥取県倉吉市小鴨 <small>くらよしおがも</small>	延長	7.0km		
事業概要	北条湯原道路は鳥取県北栄町から岡山県真庭市へ至る延長50kmの地域高規格道路である。倉吉関金道路は北条湯原道路の一部を構成し、線形不良区間、事故多発区間の解消、円滑な交通の確保により地域間の交流連携強化を図る目的とした延長7.0kmの2車線バイパスである。				
平成23年度事業化	平成23年度都市計画決定	平成26年度用地着手	平成26年度工事着手		
全体事業費	約197億円	事業進捗率	約22%	供用済延長	—km
計画交通量	8,500～10,000台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 115/170 億円 (事業費：110/165 億円) 維持管理費：5/5 億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 259/259 億円 (走行時間短縮便益：225/225 億円) (走行経費減少便益：26/26 億円) (交通事故減少便益：8/8 億円)	基準年：平成30年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=1.3～1.9 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.8～2.7 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.4～1.6 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=2.1～2.5 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.6 (事業期間 ±20%) 事業期間：B/C=2.1～2.4 (事業期間 ±20%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・中国横断自動車道岡山米子線及び中国縦貫自動車道、山陰自動車道と一体となった広域的な高速道路ネットワークを形成。 ・鳥取県中部地方生活圏と岡山県真庭地方生活圏との連携と地域活性化に寄与。 ・観光地までのアクセス性向上や関西方面や鳥根県方面からの観光客数増加を促進。 ・西倉吉工業団地やその他の工業団地へ進出工場が増加しており、工業団地の拡張計画と合わせ、企業誘致、企業活動を支援。 ・交通渋滞の緩和により損失時間が削減され、CO2排出量の削減が見込まれる。 ・緊急輸送道路としての機能を強化するとともに緊急車両到達時間を短縮し、要救護者の救命率向上に寄与する。 				
関係する地方公共団体等の意見	北条湯原道路の整備促進について、鳥取・岡山・広島 の3県で構成される「国道313号整備促進期成会」、倉吉市・真庭市・北栄町で構成される「一般国道313号地域高規格道路整備促進協議会」等から要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見	当該事業については、事業費用、事業期間及び将来交通量の見直しによる走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少に伴う費用便益比の再算定の結果について検証を行った結果、継続が妥当と判断した。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰自動車道の一部を構成する北条道路（国交省：L=13.5km）が平成29年度に新規事業化。 ・北条道路に接続する北条湯原道路（延伸）（北条JCT：L=0.4km）が平成29年度に新規事業化。 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に事業化され、平成30年3月現在で用地進捗率36%、事業進捗率22%となっている。 ・倉吉市福山～小鴨（福山IC（仮称）～小鴨ハーフIC（仮称）：L=3.0km）をⅠ期区間とし優先的に事業中。 ・関金町関金宿～倉吉市福山（関金宿～福山IC（仮称）：L=4.0km）をⅡ期区間とする。 				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	現在は工事を推進しており、倉吉道路の小鴨ハーフIC（仮称）～倉吉西IC間（L=0.8km）と一括して開通予定。				

